



水鏡(4/30・中根-高田の鉄橋)



第170号

勝田 阿字ヶ浦

茨城新聞に「湊線ダイアリー」好評連載中

湊線沿線風景を写真で綴る「湊線ダイアリー」がことし元日から茨城新聞創刊130周年事業の1つとしてスタートし、約5か月が経ちました。

写真撮影とコメントは船越知弘ら4人の応援団写真部員が交代で担当しています。連載は1年間365日(休刊日は前日に掲載)。原則、同紙の「県央版」紙面に掲載されています。なるべく季節感のある沿線風景をと心がけていますが、春から今ごろの初夏にかけては季節の方がどんどん先に進み、出稿と掲載のタイミングが少しズレしてしまうのが悩みです。

連載開始にともない、掲載紙面を切り抜いて1か月分貼れる「専用スクラップノート」が購読販売店などで無料で配布されています。在庫は販売店にお尋ねください。

反響は上々で、多くの方から「見たよ。大変ですね」など声をかけていただいております。同じく毎日更新を続けている「応援団facebook」ページと併せて応援よろしくをお願いします。



最近の紙面から

新型コロナウイルス終息までともに頑張りましょう!

未来につなぐ湊線

ひたちなか市 企画部長 福地 佳子 さん

昨年度から、ひたちなか市企画部長を拝命し、湊線支援はじめ公共交通政策全般を所掌しています。

前職の教育委員会でも、美乃浜学園開校に向けた事業を通じて湊線と関わってきました。統合校の主要な通学手段として、スクールバスならぬスクール列車を活用する取り組みは、全国でもおそらく初めてではないでしょうか。新しい学校に通う皆さんに、湊線を身近に感じながら、楽しい思い出をたくさん作ってほしいと願っています。



鉄道は、道路や橋梁などと同様に、まちの骨格を支える大切な公共インフラです。そして都市基盤のひとつにとどまらず、まちづくりや地域の活性化にも大きく寄与する、元気をくれる存在であると感じます。

ひたちなか海浜鉄道は、これまで、応援団の皆様、地域の皆様の力強い応援や温かいご支援に支えられながら、がんばる地方鉄道として全国からも注目を集め、利用者数を増やしてきました。しかしながら、ひたちなか市においても、人口減少や少子高齢化が進行しており、海浜鉄道の長期的なシミュレーションでは、このままでは、いずれ経営が非常に厳しくなっていくことが想定されています。

このため、市と海浜鉄道では、国営ひたち海浜公園の西口付近まで路線を延長して、海浜公園来園者需要の一部や阿字ヶ浦土地区画整理事業地内の居住者需要などを新たに組み込んでいくことによって、将来にわたって地方鉄道を維持発展していこうとする「湊線延伸事業」を進めています。地域の利便性の更なる向上はもちろんのこと、市の新たな魅力の創出や交流人口の拡大など、まちの発展にもつながる事業です。

この湊線延伸事業につきましては、こういった事業の意義や採算性などを認めていただき、この度去る1月15日に、国から事業許可を取得いたしました。湊線の未来に向けた新しい取り組みのスタートであり、気持ちが引き締まる思いです。延伸の実現に向けて、これからの道のりを1歩1歩丁寧に進めてまいりたいと考えています。



湊線フリー切符
期間限定600円で発売中
(こども300円)

こちらもオトクです **自治会割引回数券**

通常11枚綴りで10枚分の運賃で発売している回数券を、さらに1枚おトクな9枚分の運賃で、市内自治会加入世帯は購入することができます。たとえば勝田-那珂湊間なら通常3,500円が3,150円になるので、普通運賃の350円と比べると1回の運賃が約287円になります。有効期限は、6か月に延長されました。

MMM 8月30日~9月11日開催
みなとメディアミュージアム

昨年は新型コロナウイルスの影響で中止になったアートイベント「みなとメディアミュージアム」が2年ぶりに8月30日(月)から9月11日(土)まで13日間の会期で開催されることになりました。

2009年に始まったこのイベントは、那珂湊駅や湊線車内、那珂湊地区商店街などを作品会場にして美術作品や映像作品が展開されるほか、産(地元商店街、海浜鉄道など)・学(学生、教員)・芸(アーティスト)の協働で地域活性化を図ることを目標としています。

12回目となる本年は「語り得る可能性のすべて」がテーマ。すでに各地から応募・選考された12組の作家たちと学生スタッフらが那珂湊のまちなかでフィールドワークなどをおこなっています。どうぞご期待ください。

那珂湊駅からウォーキング



ひたちなか市ウォーキング協会では、6月20日(日)に開催する「那珂湊駅からウォーキング」大会の参加者を募集しています。コースは①名平洞の自然と那珂湊歴史探訪(6km)②那珂湊史跡・名勝めぐり(10km)③古代遺跡と中生代白亜紀層海岸(20km)の3コース。午前9時から那珂湊駅受付で自由歩行になります。参加費は地図・保険料など200円。申込みは、6月10日(日)までに、ハガキ・FAX・メールのいずれかで、同協会事務局・菅原公子さんまで。(〒312-0063 ひたちなか市田彦1308-4、☎/FAX029-274-7016、sugachi@h4.dion.ne.jp)

ハマギク花壇の下草刈りお疲れさまでした



駅的环境整備ありがとうございます

駅名	6月6日(日)	7月4日(日)
中根	柳沢美田多・相金・三反田班	
高田の鉄橋	柳が丘・関戸町・田中町自治会	
那珂湊	釈迦町・幸町・湊泉町	小川・龍ノ口町
殿山	和田町・殿山町	七町目・牛久保町
平磯	平磯・平磯清水町自治会	
磯崎	磯崎町自治会	
阿字ヶ浦	阿字ヶ浦自治会	

※朝8:30(中根駅と、高田の鉄橋駅は8:00)から実施します。

5月15日朝、那珂湊駅西側のハマギク花壇の下草刈りを周辺自治会有志のみなさんが行いました。この後、7月・10月にも作業が行われ、秋の開花を待ちます。

ハマギクは、ひたちなか市の花で、花言葉は「逆境に立ち向かう」。湊線のシンボルの花でもあります。2007年7月、当時の那珂湊二高の生徒さんが育苗した1600株を沿線の皆さんが駅とその周辺に植え付け、今も受け継がれています。

5月18日、湊線絵手紙応援隊代表の山口浩子さんらが那珂湊駅を訪れ、19都道府県148人の皆さんが描いた219枚の絵手紙を海浜鉄道へ手渡しました。

平成25年から続く今回のテーマは「おめでとう、美乃浜学園」です。6月初旬から9月末まで湊線の車内に掲示されます。

絵手紙列車が走ります



野菜と干物の朝市 6月6日(日) 午前9時~11時頃まで
毎月第一日曜日に開催
■那珂湊駅1番線ホーム
※ホームへの入場は無料です。



那珂湊駅と勝田駅湊線窓口で各種スマホ決済がご利用できるようになりました。

期間限定 夏バージョンの硬券フリー切符&応援券を発売します

6月1日(月)から8月末日まで、湊線応援企画の「湊線応援券」と「特製硬券1日フリー切符」の夏バージョンを那珂湊駅と勝田駅湊線窓口で販売します。セット価格は通常1,000円ですが、現在は、ひたちなか市の補助事業により、通常のフリー切符と同様に600円で購入できます。

夏バージョンのフリー切符はちょっと大きい「C型硬券」、応援券は青々とした田園地帯を走るロックトレイン(ミキ300-103)です。四季毎に発行される応援券4種類を揃え、那珂湊駅窓口で呈示された方にはプレゼントを差し上げます。

※切符には当分の間、旧価格が印刷されています。



湊線グッズオンライン販売 <https://minatoline37.base.shop/>

「乗車証明書」でおトク!

- ★乗車証明書は、湊線に乗車したお客様に駅または応援団が発行する乗車特典のサービスです。証明書に参加店舗に提示することにより各店独自の優待が受けられます(スタンプ当日限り有効)。現在沿線100店(施設)近くが参加し、お買物や宿泊などで優待があります。
- ★サービスは乗車当日なら、何店でも利用できます。
- ★参加店は那珂湊駅待合室に置かれたチラシ、証明書に印刷されたQRコード、海浜鉄道HPまたは応援団facebookページでご確認ください。
- ★乗車証明書裏面に印刷されたQRコードで湊線時刻表と応援団facebookページも確認できます。
- ★1,000円以上の飲食・テイクアウトで500円割引の補助事業実施中! お店巡りは湊線のご利用を。



湊線沿線の「いま」がわかる! 応援団facebookページ「いいね!」9,280名を達成しました!

- 【海浜鉄道関係】
 - ◇ホームページ <http://www.hitachinaka-rail.co.jp/>
 - ◇ツイッター <http://twitter.com/minatoline>
 - 【応援団関係】
 - ◇フェイスブック <http://www.facebook.com/MinatoLineSupporters>
 - ◇ツイッター <http://twitter.com/keha601>
 - ◇応援団HP <http://minatosen.com>(湊線どっと混む)
- ※「ひたちなか海浜鉄道」「おらが湊鐵道応援団facebook」でそれぞれ検索もできます。